

特許抄録

第 20 卷 第 11 號 昭和 9 年 11 月

水中コンクリート施工法

(特許第 107255 號 出願 7-4-15)
(特許権者(發明者) 竹田政吉氏)

この發明は、水中コンクリートを施すべき堰枠内に該枠の寸法に合して製作したるゴム製型袋を敷き擴げつゝコンクリートを投入搦固め、以て周囲の水壓に依る噴水とコンクリートを隔て遮ぎり、水中コンクリート施工を陸上施工と同様に完全ならしめやうとするものである。

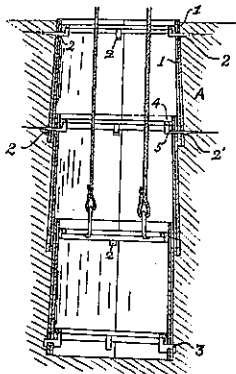
堅坑を掘鑿する方法

(特許第 107308 號 出願 8-7-18)
(特許権者(發明者) 木田保造氏)

この發明は、波形薄板にて適宜に井筒子を構成し、之を打敲して地中に下降せしめて内部の土砂を掘鑿し、次で別の井筒子を前の井筒子の波形を定規とし、動下降せしめ同じく内部の土砂を掘鑿し、斯くして順次井筒を釣構式に構成せしむる掘鑿方法である。

(第 1 圖参照)

第 1 圖



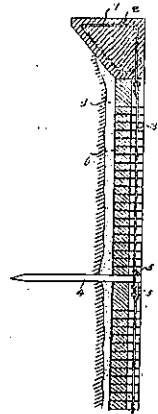
堅坑を掘鑿し周壁を築造する方法

(追加) 特許第 107341 號 出願 7-8-5)
(特許権者(發明者) 木田保造氏)

この發明は、適宜の大きさに於て所要の深さに地殻を

掘鑿し、その周壁に堅坑の周壁を支持すべき土臺砕(2)を作り、之に吊杆(3)を垂下し、適宜の深さに周壁面に垂直するやう支持板(4)を打込み、吊杆とを定着し、この支持板上に煉瓦又はコンクリート・ブロックを並列積疊して堅坑の内壁を構成し、次で次層の地殻を掘鑿して前記工程を繰返し以て所期の工事を行ふ方法である(第 2 圖参照)。

第 2 圖

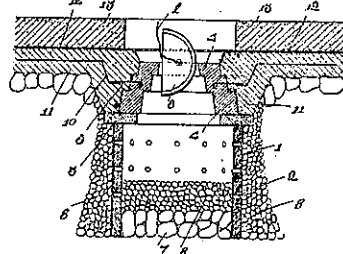


水壓利用地下水栓塞方法

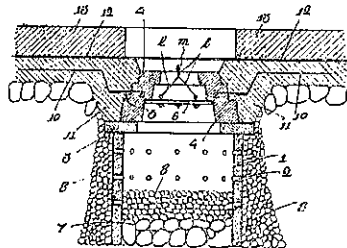
(追加) 特許第 107342 號 出願 9-1-18)
(特許権者(發明者) 高田常一氏)

この發明は、特許第 105514 號(本誌第 20 卷第 6 號の本録参照)の改良發明で、原發明では、集水筒(1)内に豫め栓體を容置し、これを後に栓塞用筒體(4)内に引上げ閉塞せしめたのに對し、此の發明では、折疊

第 3 圖



第 4 圖



自在の栓體 (6) を後に栓塞用筒體 (4) 内に挿入し、挿入後展開閉塞せしむる様にしたものである。(第 3 圖, 第 4 圖参照)。

自在岸壁設備

(特許第 107539 號 出願 9-3-27)
(特許權者(發明者) 小田賢郎氏)

この發明は、固定壁 (1) の上部の隔壁 (2) に浮體室 (5) を浮べて水位の昇降に應じ自動的に岸壁天端の高さを水位に對し適當に保たしめ、上下する岸壁天端と沿岸地面との高低差をレーヂー・トングス (7) に依る自在傾斜階段により聯絡する岸壁設備にして、以て船

舶の接岸に際し、潮汐その他に依る水位の變化に拘らず、岸壁の天端と船の甲板とを適當なる高さに保ち水陸連絡に便せしめんとするものである(第 5 圖参照)。

第 5 圖

